



14日は「鉄道の日」

## 藤枝の鉄道遺産 後世に

JR藤枝駅 展示ブースお披露目

藤枝市は14日、「鉄道の日」に合わせ、藤枝の鉄道遺産を紹介する展示ブースをJR藤枝駅に設置し、市民にお披露目した。1959年に狭軌線の世界最高時速163<sup>km/h</sup>を同市の瀬戸踏切付近で記録し、新幹線実現の布石となった「特急こだま高速度試験」と、同市と袋井市を結び70年に廃線となった軽便鉄道「静岡鉄道駿遠線」の鉄道模型やジオラマが、駅改札口前の待合室などに展示されている。

藤枝の鉄道遺産を後世に伝えるのが狙い。模型とジオラマの展示は12月27日まで。待合室のガラス面には高速度試験と駿遠線の写真、1889年の藤枝駅開業時から1番線ホームに現存する赤レンガ油庫を眺めることができるビューポイントのグラフィックシートを設置した。

14日は藤枝駅で除幕式が開かれ、藤枝市の北村正平市長や沢井勇二駅長ら関係者がグラフィックシートの幕を一斉に下ろした。藤枝少年少女合唱団の歌唱や、藤枝の鉄道に関心を持つ市民団体「新幹線原点のまち藤枝を伝える会」の山内達仁代表による駅周辺の鉄道遺産巡りなども行われた。

記事を読んで、問いに答えなさい。

①藤枝駅が開業したのは何年か。( )年

②1970年に廃線になった藤枝市と袋井市を結んでいた軽便鉄道を何というか。記事中から抜き出して答えなさい。

( )

③JR藤枝駅に「特急こだま高速度試験」の鉄道模型が鉄道遺産として展示されたのは、なぜか。次の語句を使って、説明しなさい。 < 新幹線 >

④あなたが魅力的だと考える静岡県内の鉄道路線の例を一つ挙げ、魅力的な理由も説明しなさい。

鉄道路線名( )

理由

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 伊藤 大介(静岡聖光学院中学校・高校 教諭)(中学校／社会、総合)



14日は「鉄道の日」

## 藤枝の鉄道遺産 後世に

JR藤枝駅 展示ブースお披露目

藤枝市は14日、「鉄道の日」に合わせ、藤枝の鉄道遺産を紹介する展示ブースをJR藤枝駅に設置し、市民にお披露目した。1959年に狭軌線の世界最高時速163キロを同市の瀬戸踏切付近で記録し、新幹線実現の布石となった「特急こだま高速度試験」と、同市と袋井市を結び70年に廃線となった軽便鉄道「静岡鉄道駿遠線」の鉄道模型やジオラマが、駅改札口前の待合室などに展示されている。

藤枝の鉄道遺産を後世に伝えるのが狙い。模型とジオラマの展示は12月27日まで。待合室のガラス面には高速度試験と駿遠線の写真、1889年の藤枝駅開業時から1番線ホームに現存する赤レンガ油庫を眺めることができるビューポイントのグラフィックシートを設置した。

14日は藤枝駅で除幕式が開かれ、藤枝市の北村正平市長や沢井勇二駅長ら関係者がグラフィックシートの幕を一斉に下ろした。藤枝少年少女合唱団の歌唱や、藤枝の鉄道に関心を持つ市民団体「新幹線原点のまち藤枝を伝える会」の山内達仁代表による駅周辺の鉄道遺産巡りなども行われた。

記事を読んで、問いに答えなさい。

①藤枝駅が開業したのは何年か。( 1889 )年

②1970年に廃線になった藤枝市と袋井市を結んでいた軽便鉄道を何というか。記事中から抜き出して答えなさい。

( 静岡鉄道駿遠線 )

③JR藤枝駅に「特急こだま高速度試験」の鉄道模型が鉄道遺産として展示されたのは、なぜか。次の語句を使って、説明しなさい。 < 新幹線 >

(例) 1959年に狭軌線の世界最高時速163キロを藤枝市の瀬戸踏切付近で記録し、新幹線の実現の布石になったと考えられているため。

④あなたが魅力的だと考える静岡県内の鉄道路線の例を一つ挙げ、魅力的な理由も説明しなさい。

(例) 鉄道路線名: 岳南電車

理由: 日本夜景遺産に認定されている富士の工場夜景を、電車の中から楽しめる夜景電車が運行されているから。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤 大介(静岡聖光学院中学校・高校 教諭)(中学校/社会、総合)